

議会報告会報告書

開催日時	平成28年10月5日（水）午後1時30分 終了：午後2時55分	
開催場所	白山市民交流センター 4階研修室AB	
対象団体	白山市各種団体女性連絡協議会	
参加人数	44人	
班構成	B班	山口 俊哉、小川 義昭、北嶋 章光、宮中 郁恵、 村本 一則、岡本 克行、藤田 政樹
役割分担	リーダー：藤田、司会：北嶋、書記：宮中 報告：当初予算－村本、主な事業（総務）－山口、（文福）－小川 （産建）－岡本	

(質疑応答)

(質問1)

白山開山1300年記念事業の期間はいつまでか。また、現在の状況はどうか。

(答 弁)

今年度からの3カ年の事業で、金沢市と連携する事業などが予定されているが、現在のところ報告は受けていない。

(質問2)

市が所有している認知症測定のパネル機器を、地域のイベントでも使用できないか問い合わせたところ、担当職員がいないので行けないなどと言われた。高齢者の不安を和らげるためにも、職員には身を削ってでも地域に足を運んでほしい。

(答 弁)

提言として受けとめる。

(質問3)

広報に掲載された行事について、所管する課や文化施設に問い合わせたが、職員からは内容を全く知らないため、電話を掛け直してほしいなどと言われた。市職員としてはもったの外だと思う。また、いろいろなことで市役所に電話で問い合わせをしても何度も知らないと言われ、窓口に行くと態度がいい。この対応の差がとても不愉快である。接客の改善を指導してほしい。

(答 弁)

提言として受けとめる。

(質問4)

空き家が多くなっているにも関わらず、宅地開発が至るところで進んでいる。今後、高齢化とともに人口減少が進み、空き家がふえることで町のスラム化が予想されるので、防犯上よくないと思う。市では空き家バンク事業を進めているが、現在の状況はどうか。

(答 弁)

空き家バンクの対象地域は、昨年度までは白山ろく地域のみだったが、今年度からは白山市全域に拡大した。なお、8月会議の一般質問において、小松市や加賀市の空き家解体助成金を本市でも実施するよう提案したところ、今後検討していくとの答弁だった。また、空き家の改修助成の対象についても、昨年度まで白山ろく地域のみだったが、今年度から白山市全域になった。

(質問5)

昨年からはひとり親家庭への学習ボランティアとして取り組んでいる。金沢市においては、同じ子供を数年にわたって学習支援をしていると聞いたが、白山市においては、事業の開始が夏休みあたりで、1回につき2時間から4時間を年25回と決まっている。学習ボランティアには報酬が支払われるが、夜分や土日の親御さんがいる時間に伺うなどの制限等から登録者数が減っている。しかしながら、学習支援の申込がふえているので、担当者はボランティアの登録に苦慮しているらしい。私はこれまで3年生を2回担当しており、受験への追い込み時期に小学生程度の基礎学力もない子供を、半年で受験までに持つていくのはとても大変である。そこで通年制で学力を上げていくシステムにしてほしい。

(答 弁)

学習支援については回数が決まっていることもあり、受験時期に集中することになる。1年間でしっかりとした学力をつけるのであれば、事業内容の変更や充実させる必要があると思う。金沢市では、子供たちを実施場所に集めて支援しており、白山市でも取り組めないか研究したい。また、いただいた御意見は執行部に提言したい。

(質問6)

こども食堂について、開催しないよりはいいが、年に数回では本当の活動にはならない。ひとり親家庭では母親の帰宅が夜遅い家庭もあり、子供がひとりで待っていると思うので、子供の居場所をつくり食事を提供し、少数のボランティアで学習支援ができればいいと思う。

(答 弁)

北九州市においては、民間業者が月2回、年間20回程度のこども食堂を行い、行政はその民間業者に支援を行っている。金沢市でも9月からそのような事業を開始しており、白山市でもできないか期待している。

(質問 7)

子供たちから山の名称を聞かれることが多く、方位盤があれば登らなくてもわかると思うので、去年、市長に登山口に方位盤の設置を要望したところ、検討するとの回答だったが、現在の状況はどのようになっているのか。なお、富山県においては「富山の百山」ということで、どんな小さな山でも名称や高さなどが記載された方位盤があるらしく、石川県にも山がたくさんあるのでつくってほしい。

(答 弁)

登山口の方位盤の設置状況は把握していない。議会としても提言していきたい。

(質問 8)

教員を退職された方に教員の補欠に来てほしいと言っても、現役のときの余りのひどさに「もう学校には行きたくない」と言われた。現在の教員の帰宅は、午後 8 時、9 時が当たり前で、夕食がコンビニ等の弁当が続くなどひどい状況である。せめて 7 時には帰してあげないと気の毒である。全国学力テストの結果は優秀だが、その反動もあるではないか。

(答 弁)

小・中・高校の教員の多忙な環境は、なかなか解消されない。白山市では文書量を減らし、報告書を簡単にすることや研修を減らすなど努力している。それでも事務量は圧倒的に多いため、子供と触れ合う時間が少ないなどの弊害を心配している。議会でもそのような声をあげていきたい。

(質問 9)

いずれは運転免許証の返納を考えているが、コミュニティバスの運行が少ないことや、免許証を返納してもコミュニティバスの乗車助成券が 1 年分しか支給されないので、返納される方は少ないと思う。どのように考えているのか。

(答 弁)

コミュニティバスについては、ルート変更を繰り返すなど頭を悩ませている大きな問題であり、本来市民の足になるはずのものが、十分に目的を果たしていない。また、松任地区では銭湯を廃業したことで、松任地区の高齢者が徳光の市民温泉に入浴に行きたいが、松任地区からのバスが余り運行されていないので、現在執行部では検討している。議会でも何度も意見は伝えており、平成 29 年 4 月にルート等の見直しをするので要望があれば言ってほしい。

(質問 10)

以前に J R 松任駅周辺に交番設置の要望をしたが、当時は松任警察署があったので、難しいとのことだった。現在は警察署が移転したので、対応はどのようになっているのか。

(答 弁)

駅周辺の観光客を含めた安全・安心にも関することなので、何度か一般質問でも取り上げられている。なお、市長は所管の石川県警警務部に平成 27 年度末から何度か要請を行うなど鋭意努力している。

(質問 1 1)

市議会議員はどのようなスケジュールで活動しているのか。

(答 弁)

白山市議会では通年議会にして、いつでも議会を開くことができるようにした。なお、定例会議の3月、6月、9月、12月や委員会、全員協議会などには登庁するが、議員の活動は基本的には自由であり、毎日登庁している議員もいれば、住民の声を聞くために動いている議員、県外に勉強に行っている議員などさまざまである。議員は歳費ではなく、報酬をいただいているので、毎日登庁する必要はない。

(質問 1 2)

富山市議会の政務活動費不正受給問題に関連して、白山市議会においてどのような状況なのか。

(答 弁)

白山市議会においては、使途基準に基づいて議会事務局がチェックしている。また、視察などで研修したことは、本会議の一般質問などに反映している。なお、政務活動費の公表については、富山市議会の一連の問題の前から議会運営委員会などで検討している。

備 考	
-----	--